

Allplan 2022



BIM・CIM/IFC対応3次元土木建築CAD

Basic 2022
¥451,000
(税抜¥410,000)

Architecture
¥979,000
(税抜¥890,000)

Engineering
Building
¥979,000
(税抜¥890,000)

Engineering
Civil
¥979,000
(税抜¥890,000)

AEC 2022
¥1,353,000
(税抜¥1,230,000)

Windows 8.1/10/11 対応

IFC 3D PDF

体験セミナー

3D配筋対応

開発: Allplan社

<http://www.allplan.com>

ドイツのCADメーカーAllplan社により開発されたBIM/CIM統合ソリューション。基本図面、レンダリングイメージやプレゼン映像、詳細施工図、数量算出、積算など、建物のライフサイクルに必要なあらゆる情報を連続的に設計・表現できます。汎用CADの基本的な描画機能とともに、建築・建設CADとしての様々な部材を保有しており、3D表示、レンダリング、数量計算、プレゼン用のデータ加工まで行うことができます。

【インターフェース】

- 高性能なスナップツールを備えた作図カーソルにより、作業効率のアップを実現
- 2D図面で行った作図・編集は3D画面の立体モデルに即反映
- オブジェクトナビゲーター：図面、レイヤー、種類ごとにリスト化し表示
- 平面パレット機能：フロアの選択・名前、標高の調整。壁、スラブ、柱などのコンポーネントをポリゴン化されたサーフェスまたは自由曲面にリンク可能
- プロパティパレット：壁、スラブ、基礎、屋根、部屋などのコンポーネントを構築するためのフォーマット、ビジュアライゼーション、および属性の設定を管理

【プレゼンテーション】

- レンダリングによる高画質なイメージ作成、気象・季節表現、日影計算、光源、照明シミュレーションなどが可能
- CINEMA 4Dモデリングツールをダイレクトに活用可能

【多彩な高性能オブジェクトと部材作成ツール】

- 柱、梁、床、壁などの基本的な部材作成ツールに加え、高性能オブジェクト(窓、ドア、階段、ファサードなどの部材)を用いて建物モデルを作成
- 平面図、立面図、アイソメトリック図で構造部材やオブジェクトの入力・編集を行うと、3D画面の立体モデルに変更リアルタイムで反映
- 部材の結合、切断、交差、部材表面の貫通など直感的に確認しながら操作可能
- SmartParts (パラメトリック)：強力な3Dモデリング機能を使用、インテリジェントに動作するロジックパラメータを持っているオブジェクトを作成可能

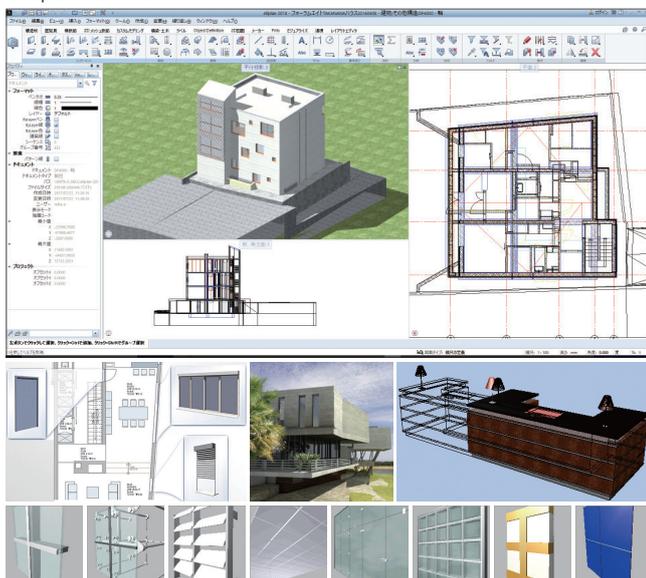
【2D作図/3Dモデル】

- 2D図面で外部ファイル参照可能なXRef機能、繰り返し利用する部材を定義して3Dモデルの作図を行うスマートシンボル機能など、多彩な機能を用意
- 作成した3Dモデルから任意の断面図を切り出し可能
- CineRenderへのアンビエントオクルージョン：部屋の隅など暗くなる効果に対応
- グリッド機能：2Dと3Dの両方で使用可、ハンドルによりグリッドを調整、パレットに基づいたUIにより、すべてのプロパティを直感的に定義および調整可能

【配筋図】

- オブジェクトベースの一般的な配筋や自動シェルエッジ認識
- あらかじめ用意された鉄筋グループの定義、高度なテキストチャなどの機能

▼ Allplan Architecture



- ウィザード機能を利用、作成した配筋図から加工図作成も可能

【数量計算】

- 鉄筋、型枠コンクリートなどの構造数量、壁材や床材などの仕上げ数量まで、体積・面積・重量などさまざまな構造部材の数量計算が可能
- 計画→詳細設計→数量計算→概算工事費算出の一連の作業が、AllplanのBIM対応ソリューションによって実現

【データ連携】

- IFC形式など、さまざまな3D・2Dのファイル形式でのデータ交換が可能
- フォーラムエイト製品との連携により、建物エネルギー、火災・避難、氾濫、交通ネットワーク、構造などの各種解析と、VRIによる可視化のシミュレーションが可能
- LandXMLのインポート：地形点、平面線形のインポートが可能
- IFC4出力、項目の設定編集に対応

建設 IT ガイド 2011 ((財) 経済調査会刊) の「BIM で変える! BIM ツール徹底検証」で Allplan(Architecture) が取り上げられました。
建設 IT ガイド HP : <http://it.kensetsu-plaza.com/cad/>

Allplan2019 IFC検定合格

検定MVD名称 土木モデルビュー定義2018

検定区分 入力2:CAD系
認定番号 CVL01-i-1805
認定日 2019年4月18日



検定区分 出力
認定番号 CVL01-e-1810
認定日 2019年5月28日



Allplan 2022 改訂内容

2022年2月9日リリース

1. ツールチップの拡張、ユーザインタフェースの向上
2. コンポーネントの相互作用の改善による効率的で詳細なモデリングが可能
3. 補強機能の自動化に対応
4. 色分けによる迅速なエラー検出に対応
5. プレキャスト桁による橋の設計への対応
6. IFC4.3をサポート

▼ Allplan Engineering

